

2010

3

武士道

日本思想の解明

BUSHIDO:

The Soul of Japan

新渡戸稲造著 矢内原忠雄訳 李登輝解題

二三産業 TEL 06(6944)1231 FAX 06(6944)1232

(グリフィス William Elliot Griffis 1843~1928 アメリカの牧師。1890年福井藩に招かれ日本基督教を執る。引用は彼の著書からである) —中略

アリステレス (Aristoteles 紀元前384~322) および近世の二三の社会学者と同じ、国家は個人に先んじて存在し、個人は国家の部分である。生まれたものと考えるが故に、個人は国家のため、もしくはその正なる権威の掌握者のために生きたり死すべきものとした。 —中略

新渡戸稲造先生の「忠義」は、有名な菅原道真(845-903)と、その旧臣・村莊礼の比、我「忠臣と欲すれば孝ならず、孝ならんば公事すれば忠ならず」と苦闘し、平重盛の物語など、忠と孝、義理と人情との衝突について述べている。と云う。傳説の李登輝氏は、武士道の全体をよく読んでみれば、忠と孝は結局のところ表裏一体をなしており、人間のあり方として当然のことと述べている。以上述べた通り、と云うことがよくわかる。と述べている。

武士道は、我々の良心と主君の奴隷となすべきことを要求するもの。トマス・モーラー(1386~1405イギリスの詩人)の次の詩は、善く我々を訓告する。畏るべき君よ、我が身は君のものに捧ぐ。我が生命は君の命の草なり、我が心はしからず。生命を棄つるは我が義務なり。されど死すとも、暮に生く我が若かば、名を、暗に名誉の用に供するをえず。主君の氣論れの意志、もしくは妄念邪想のためは、自命を義理にする者に対しては、武士道は低き平野を与え、かかれば、「佞臣<sup>ネイジン</sup>すむむと腹黒を阿諛<sup>アリン</sup>すも、その氣に入るとは未だ奸徒と見、或いは「窮臣<sup>キウジン</sup>すむむと卑屈なる追従に於て主君の愛を盗む、僭臣<sup>ケンジン</sup>と見せられた。

臣が君と意思を異にする場合、彼の取柄は忠義の途は、いやに仕立し、(シエスピアの「リア王」に出くわす無類の忠臣)のどく、あつち手段をつかして君の非を正すにあらば、容れられざる時は、主君を以て欲するがために我を処置せよ。かかる場合において、自らの血を以て言の誠実を表明し、これらに、主君の明智と良心に對し、最後の諍言を呈すは、武士の常である。

封建道徳中他の諸徳は、他の倫理体系もしくは他の階級の人人と共通するが、この徳——目上の者に対する服従および忠誠——は截然として特色をなしている。人格的忠誠はあらゆる種類および境遇の人人の間に存在する道徳の結晶であることは私は知っている。——梅操<sup>ウメノササキ</sup>の「國をアルキメデス<sup>アルキメデス</sup>に對し忠誠を賣る。いさむら忠誠の至高の重要性を呈すのは、武士の名譽の授けを以てのみである。

ヘーゲル(Georg W. Hegel 1770~1832 ドイツの大哲学者)は、封建的臣下の忠誠を批判し、それは個人に対する義務には、国家に対する義務ではないから、全無である原理の上に立てられた「朝貢<sup>テウゴウ</sup>」であるとしたが、これにもおのりならず彼の偉大なる同国人ビスマルク(Otto Von Bismarck, 1815~1898 ドイツの政治家)は、人格的忠誠を以て、ドイツ人の徳であると誇った。ビスマルクのこれを誇りに、善き理由があった。しかしそれは彼の誇り、忠誠が彼の祖国の、もしくはいづれか一国民または一民族の専ら物であるからではなく、武士道のこの美果は封建制度の最も長く続いた国民の間に最も遅くお留まるが故である。 —中略

我が国民が抱くべき忠義は、他の国々には多くの讚美者を見出さぬかも知れぬ。(しかしそれは我々の觀念の誤謬なるが故ではなく、おそらく彼らがそれを忘れたからであり、我々も他のいかなる国にも連せられざる程度の高さに我々を奮起せしめたからである。中国では儒教が親に対する服従をも人間第一の義務となすに對し、日本は忠が第一位に置かれると、グリフィスの述べたのはまづ正し。

昭和20年・1945年 8月15日を境に、「忠義」という言葉は徐々に消滅。忘れられた。意識的に消滅した。

武士道や大和心やまじりと対極的な日教組などの教団組織やマツコの過激な運動や活動の活発化に続く。忠と孝に孝が、二宮金次郎がも消滅。

中より教育、週休二日、日本史科選、学業修め業を習い、知能を啓蒙し、には教育勅語を廃絶した。日本人としての自覚が希薄に学業が盛んになった事は、困ったことに思っており、

昨年末の、司馬遼太郎の「坂の上の雲」特別ドラマの明治人同士の熱に感動。明治は1869~1902、150年、思いを馳せ、

今年NHKの大河ドラマは「龍馬傳」坂本龍馬1835~1867 幕末志士の心象。

FRP製 ドハタタキ (土羽打器) FRP製 コンクリート・ホッパー (大漏斗)

1980~90年頃、お建設業の鼻息の荒い頃 南米の北上掘 2商品と、改め建設業界。2005年に事情あり、社外事業を引退。以上皆元々思ひながら、別添録色紙。とあり、龍馬を思ひながらの御案内です。 誠敬を以て